

2009 (平成21) 年度 舞踊学関係修士・博士論文題目一覧

修士論文

論文題目	氏名	大学名
・インクルーション実現に向けた活動のあり方について～「レッツダンスでガッツ元気の会」をモデルとして	小西 寛之	大分大学
・知的障がい者のダンス活動に対する否定的な態度について	首藤 小和	大分大学
・ミーム・コルポレルにおけるモダニティについての一考察	野田はるか	大阪市立大学
・映像化がもたらす舞踊作品の可能性	玉上めぐみ	お茶の水女子大学
・舞台という場およびその生成に関わる稽古について	東島 未知	お茶の水女子大学
・ローラン・プティ《若者と死》(1946) —表象化された「死」と「生」の象徴「若者」—	深澤南土実	お茶の水女子大学
・幼児の舞踊活動にみられるつながりとしての身体	渡邊 真子	お茶の水女子大学
・H.リードの芸術教育論とCreative Partnershipsにみられる芸術教育が有する人間形成の意味について	水原佐和子	お茶の水女子大学
・振付家・佐多達枝とその舞踊作品に関する研究—振付ノート『佐多ノート』の分析を通して	澤井麻奈美	お茶の水女子大学
・障がい児・者を含むダンス活動グループにおけるダンス指導法	小森 文恵	埼玉大学
・テンポ保持に及ぼす音刺激周期の影響	浦野真理子	奈良女子大学
・日本におけるバレエ草創期の舞踊家:東勇作(1910-1971)	木原 寛子	日本女子体育大学
・日本の大学における舞踊教育 —舞踊(ダンス)専門課程を持つ大学を対象に—	塩野入一代	日本女子体育大学
・ロマン主義とロマンティック・バレエ	菅佐原真理	日本女子体育大学
・ドリス・ハンフリーとモダンダンスの20世紀	田代ゆかな	日本女子体育大学
・ヒップホップにおける首の重要性に関する一考察	阿部 直子	日本女子体育大学
・からす踊りの伝承に関する一考察	高橋 由美	日本女子体育大学
・教師教育プログラムとしてのコンテンポラリーダンスワークショップの開発	児玉 孝文	宮崎大学
・ダンサーの「美」についての一考察 —バレエを事例として—	穂村 礼美	早稲田大学
・モーリス・ベジャール振付作品《ボレロ》をめぐる考察 —女性メロディを中心に	石坂 安希	早稲田大学
・ジェローム・ベル作品に見る反スペクタクルの戦略— 《The show must go on》を中心に	越智 雄磨	早稲田大学

博士論文

論文題目	氏名	大学名
・琉球舞踊の女踊りにおける型 —運動譜による分析の試み—	大城 ナミ	沖縄県立芸術大学
・バレエ《火の鳥》の起源:20世紀初頭ロシア文化と帝室劇場	平野恵美子	東京大学
・土方巽・暗黒舞踏研究—身体という制度への叛乱	稲田奈緒美	早稲田大学
・エリアナ・バヴロバによる日本へのバレエ移植	川島 京子	早稲田大学
・Alternde Körper im Tanz	中島那奈子	ベルリン自由大学
・Über das Geistige auf der Bühne. Körperlichkeit und Bewegungen in Wassily Kandinskys frühen <i>Bünenkompositionen</i> (1908/09)	小林奈央子	ミュンヘン大学